

春の企画展

「田原の美術 森緑翠とその仲間展」



森緑翠「鞍馬寺献燈」1976年



森緑翠「異国土偶」

森緑翠は、大正6(1917)年に東京都江東区に生まれ、昭和5(1930)年には中村岳陵に師事し蒼野社に入門、その創作活動を開始しました。昭和10年の院展、12年の新文展に初入選すると昭和18年の新文展では特選を受賞しています。前年の17年には一采社同人、昭和22年には日展に初入選を果たし、日展・一采社展を活動の拠点とします。

昭和24年、持病であった肺結核が悪化し制作活動を中断せざるをえなくなると、その翌年に蒼野社の仲間であった中村正義や浅田蘇泉夫婦の尽力により渥美郡泉村石神(現在の田原市石神町)にて転地療養することとなりました。この石神での豊かな自然と温かな人々との交流生活によって、奇跡的に病気が回復すると昭和32年、豊橋市に転居しました。再び絵筆をとることができるようになった昭和34年の新日展で特選、翌年には無鑑査となりましたが、今まで所属していた蒼野社を脱退。昭和36年に我妻碧宇・浅田蘇泉・伊東隆雄・永井繁男らと白士会を結成し、以後、白士会展を中心に出品を続けるほか、中部選抜展や中日展などといった当地方の展覧会を中心に活躍します。昭和52年には白士会顧問に就任し、多くの会員たちの育成にも貢献しながら昭和55年の豊橋文化賞をはじめ数多くの賞も受賞しています。昭和61年、渥美町郷土資料館(現在の渥美郷土資料館)にて開催された特別展「郷土の画人展」に出品。平成6(1994)年には豊橋市美術博物館で「森緑翠展」を開催するも平成11年に逝去しました。

今回の企画展では、田原市にゆかりの深い森緑翠の作品を近年寄贈された作品や地元に残された作品を中心に展示するとともに、中村正義や浅田蘇泉をはじめとする白士会創立当時の仲間たちの作品も合わせて紹介することによって、それぞれの画家たちの作品世界をご堪能いただけます。



森緑翠「唐 女子俑」



森緑翠「青梅」

開催期間

平成26年4月12日(土)～5月25日(日)

\*休館日：毎週月曜日  
但し、5/5(月・祝)は開館、5/7(水)は休館

会場 田原市博物館 第一会場  
渥美郷土資料館 第二会場

後援 愛知県教育委員会

展示内容 森緑翠作品(日本画、スケッチ画等) 約30点  
蒼野社時代：中村正義、白井青淵等  
白士会時代：我妻碧宇、浅田蘇泉、伊東隆雄、永井繁男、道家珍彦等作品 約30点

観覧料 一般400円(320円) 小・中学生以下は無料  
( )内は20人以上の団体料金 ※渥美郷土資料館は無料

ギャラリー 演題「恩師、森緑翠を語る」

トーク 講師：道家珍彦(元白士会委員)  
日時：4月26日(土) 午後1時30分～  
会場：田原市博物館

展示解説 4月26日(土) 午前11時～ 田原市博物館  
5月17日(土) 午前11時～ 渥美郷土資料館  
講師：田原市博物館 学芸員 天野敏規  
同時開催 華椿系の花鳥画 田原市博物館特別展示室



森緑翠「ほおずき」



森緑翠「枇杷」

田原市博物館 TEL22-1720 <http://www.taharamuseum.gr.jp>